

I.あいさつ

2023 年度を終えて

今年も多くの方に当協会の事業にご理解・ご支援を賜り、無事に 1 年を終えることができました。物価高騰、円安、大きな震災、そして個人的には家族の不幸等が続く中で、理事長としての半年少しを終えて感謝の想いでいっぱいです。

コロナ禍が明けて、新たな時代を迎え、多くの変化を力として、さらなる進化と成長に繋げるべく、努力を重ねてきた職員たちが、明るく元気に困難を乗り越えて来られたのも、常に明るく前だけ向いている犬たちの存在あってのことと、改めて当協会の事業の意義を噛み締める 1 年でした。

盲導犬しかなかった日本に、法律上の定義を持つ介助犬を生み出したのは当事者の想いに寄り添うところから始まりました。With You プロジェクトも、Dog Intervention も、付添犬も然りです。欧米での犬の役割のニーズは、5 年から 10 年経って、日本での開拓につながってきました。また、犬の行動学や心理学、動物福祉や人と動物の関係学などの学術的な取り組みや最新情報も常に欧米から入ってきます。

コロナ禍で 3 年待った ADI の認可をようやく受けられたことで、世界中の団体とのネットワークづくりが軌道に乗り始めた年になりました。私たちが人と犬をつなぐプロフェッショナル集団として、これからも日本社会のニーズにいち早く応え続け、持続可能な事業としての継続のために人財養成を拡げていけるように、と事業展開をしてきた 1 年間でありました。

これからもさらなる飛躍を遂げる一年となるべく努力してまいります。

理事長 高柳友子

II. 令和5年度 事業報告

1. 介助犬等事業活動

(1) 介助犬貸与および継続指導

① 介助犬の貸与

介助犬総合訓練センターにおける合同訓練を経て、1組のペアが指定法人より新たに認定された。

② 介助犬使用者に対する継続指導

新規認定者を除く全使用者16名に対し、「アフターチェック表」、「介助犬健康診断書」による現状把握を行い、生活状況の確認を行った。

継続指導の手段、回数については以下の通り。

| 指導方法 | 回数 |
|---------|----|
| 訪問/対面指導 | 58 |
| オンライン指導 | 4 |
| 電話 | 28 |
| メール | 62 |

(2) 公益的活動

① DI犬®の貸与

センターに於いて、ハンドラー研修、病院での実地研修を行い3頭目のDI犬®の貸与を行った。

| | DI犬®貸与先 | | | DI犬® | | 研修期間 | 認定日 (当法人認定) |
|----|---------|------------------|-------------|------|------------|--------------------------|----------------|
| | 都道府県 | 病院/クリニック | ハンドラー 職種 | 犬名 | 性別 (犬種) | | |
| 継続 | 神奈川県 | 聖マリアンナ 医科大学病院 | 看護師 | ハク | 雄 (GR) | 2022年8月1日～ 2023年4月20日 | 2023年4月21日 |

② DI 犬®に対する継続指導

DI 犬®を貸与している以下の機関へのハンドラー指導を継続的に実施した。

| 貸与先機関名 | 指導回数 |
|-----------------|-----------------------------|
| 聖マリアンナ医科大学病院 | 15回 |
| 楓の丘こどもと女性のクリニック | 1回 2023年11月を以て、DI 犬®ハチ引退 |

③ 定期的な DI 活動

イ) 以下のクリニックおよび機関に対し、定期的な DI 活動を実施した。

| 活動先 | 回数 |
|------------------------|-----|
| 野のすみれクリニック | 24回 |
| 千葉リハビリテーションセンター | 2回 |
| 川崎市児童相談所一時保護所 (2カ所) | 24回 |
| 名古屋市児童相談所一時保護所 | 20回 |

ロ) 子ども支援センター『つなぐ』からの付添犬派遣要請に応じた。つなぐ職員1名について、付添犬ハンドラー養成を並行して開始した。

| 派遣先 | 回数 |
|-------|-----|
| 愛知県内 | 16回 |
| 神奈川県内 | 12回 |

ハ) その他の対応

- ・宮城県立こども病院他に対する DI 活動を実施した。
- ・名古屋市児童相談所から、新たな一時保護所での依頼相談があり、2024年度より実施が決定した。

(3) With You プロジェクト

発達障害、知的障害等の児童等のいる8家庭に対して犬を譲渡した。

| 譲渡先内訳 | 譲渡数 |
|------------------|-----|
| 発達障害 | 4件 |
| 知的障害 | 1件 |
| 身体障害 | 1件 |
| 重複障害(身体障害+知的障害等) | 2件 |

2. 介助犬等育成事業

(1) 犬の飼育及び訓練

① 候補犬の訓練

候補犬 18 頭（新規入所犬 8 頭）を確保し、評価及び訓練を行った。

② パピーに対する訓練及びパピーホームボランティアに対して対面もしくはオンラインでの来訪デイや預かりレッスン見学等を実施、指導を行った。

③ PR 犬の育成・訓練

介助犬啓発活動に参加する PR 犬の作業力維持のため、PR 犬（PR 候補犬含む）8 頭の育成・訓練を行った。

④ 本部一時預かりボランティアに対してケアやハンドリングについてのレクチャーを実施した。

(2) 繁殖

① 1 回の出産を行い、4 頭のパピーを確保した。

② Career Dogs Australia よりパピーを5 頭導入した。

③ 6 頭の繁殖犬（雌 3 頭、雄 3 頭）を確保した（新規 1 頭）。

④ 岐阜大学附属動物病院の協力のもと、内視鏡による人工授精を1 回行った。

⑤ 岐阜大学へ凍結精液の作成を相談の上、依頼した。

保有頭数（2024 年 3 月 3 1 日現在）

| 保有頭数 | |
|----------------|----------------|
| 介助犬（貸与中） | 1 6 頭 |
| DI 犬®（貸与中） | 1 頭 |
| DI 犬®/PR 犬 | 1 2 頭 |
| 訓練中/評価中 | 8 頭 |
| パピー | 6 頭 |
| 繁殖犬 | 雄 3 頭 雌 3 頭 |
| その他（CC 犬、引退犬等） | 6 頭 |

3. 相談事業

(1) 介助犬使用者に対する就労・継続支援

介助犬使用者1名の就労希望に対し、就労支援機関と連携を取りながら支援を行った。

(2) 介助犬希望者への相談支援

① 介助犬に興味・関心のある障がい者を対象に、相談会を実施した。

| | 日時 | 場所 | 参加者 |
|------|---------------|-----------------|---------------------------|
| 相談会 | 11月25日 (土) | 介助犬総合 訓練センター | 5名 (愛知県2名・岐阜県・静岡県・滋賀県) |
| | 1月14日 (日) | 横浜ラポール | 3名 (東京都・神奈川県・埼玉県) |
| 個別面談 | 対面 | | 7件 |
| | オンライン | | 8件 |

② 介助犬希望者宅に対し、併せて7回の訪問調査、犬連れ訪問、さらに協会として初めての取組みである社会参加指導を行った。

③ 介助犬希望者・待機者を対象にした体験入所を11月24日(金)～25日(土)で実施した。

4. 普及啓発・広報活動

(1) イベントおよび企業連携

① 「介助犬フェスタ 2023」

4月6日(木)、愛・地球博記念公園モリコロパークと、Youtubeを活用したハイブリッド形式により開催した。介助犬デモンストレーション、車いす・介助犬体験、会場内練り歩きの様子をリアルタイムで配信した。

- ・現地来場者： 795名
- ・オンライン最大視聴者： 119名

② 四国介助犬キャラバンの開催

12月17日(日)～12月25日(月)、四国4県(愛媛県、高知県、徳島県、香川県)での介助犬キャラバンを実施した。商業施設や、県や市の障害福祉課および募金箱設置店等、計32か所を訪問し、延べ約1,500名の方に啓発活動を行った。期間中7件のメディアに取り上げられた。

③ JA 共済連との連携

はたらくワンワンランド（JA 共済連主催）における啓発活動を、のべ1都8県19市区町村（東京都、神奈川県、愛知県、福島県、新潟県、岐阜県、熊本県、和歌山県、富山県）にて行った。

④ 読売巨人軍等との連携

読売巨人軍および菅野智之投手（介助犬サポート大使）とのタイアップ継続による東京ドームへの出展、チャリティコラボ商品の企画・販売を行った。

出展回数：24回（含地方試合および沖縄キャンプ地出展各1回）

チャリティコラボ商品：計4点作成

累計販売数：1,834点

累計販売金額：5,925,060円

⑤ その他の企業との提携

- ・株式会社モンベル：サポーターカードによる提携
- ・タリーズコーヒージャパン株式会社：寄付付商品販売、コラボイベントの実施
- ・イオンペット株式会社：「めぐるチャレンジ・絆キャンペーン」による募金活動
- ・株式会社オリエントコーポレーション：社会貢献カードによる提携

⑥ その他のイベント・講演会：165件（内オンライン実施5件）

(2) 見学会および視察

① 見学会

| 実施日 | 名称 | 参加者数 | 開催場所 |
|--|----------------|-----------------------|---------------------------------|
| 5月13日(土) 6月11日(日) 7月22日(土) 9月9日(土) 10月14日(土) 11月19日(土) 1月13日(土) 2月24日(土) 3月9日(土) | 一般見学会（来場型） | 計380名 | 介助犬総合 訓練センター |
| 8月19日(土) | 一般見学会（ハイブリッド型） | 現地32名 オンライン 24組 | 介助犬総合訓練 センター および オンライン |

② 視察

介助犬総合訓練センターへの視察依頼を 33 件受け入れた。

(3) 広報活動

① マスコミ対応

依頼があった以下の媒体に対して、取材対応を行った。

| 媒体 | 件数 |
|---------------|------|
| テレビ取材 | 9 件 |
| 新聞掲載 | 23 件 |
| 雑誌・広告等掲載 | 15 件 |
| その他 (WEB 記事等) | 21 件 |

② プレスリリース

プレスリリースサイト (PRTIMES) を通じて計 25 件のプレスリリースを実施し、計 653 件の記事転載が行われた (広告換算額: 27,366,463 円)。

③ SNS の活用

SNS を活用し支援者への情報発信・啓発活動に努めた。
登録者数等は下記の通り。

(2024 年 3 月 31 日現在)

| 名称 | 登録者数等 |
|---------------|--------------|
| X (旧 Twitter) | 7,594 フォロワー |
| Facebook | 10,872 フォロワー |
| Instagram | 13,602 フォロワー |
| YouTube | 3,060 登録 |
| Note | 42,553 View |

④ 会報

年間 4 回の会報誌作成・発信を行った。

⑤ ホームページ

支援者獲得に繋がる導線について継続的に検討・改善を行った。

- ・子供向けに介助犬について学べる『介助犬図鑑』のページを新たに公開した。
- ・Dog Intervention®のページに動画を追加した。
- ・閲覧回数の多い『介助犬について』のページに、頭数や補助犬全般の説明等を追加した。
- ・介助犬の暑さ対策についてのページを設けた。

(4) 学会・出展等

① 学会

リハビリテーション専門職等への介助犬の理解を深めるため、デモンストレーションの機会を得た。オンラインでの参加も行った。

| 学会名 | 日程 | 開催地 |
|-------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 第58回日本理学療法学会学術研修大会 | 2023年5月27日(土)、28日(日) | オンライン (動画上映) |
| 第31回日本慢性期医療学会 | 2023年10月19日(木)、20日(金) | 大阪国際会議場 |
| リハビリテーション・ケア 合同研究大会 広島2023 | 2023年10月26日(木)、27日(金) | 広島国際会議場 |
| 第15回日本身体障害者補助犬学会 | 2023年10月28日(土)、29日(日) | 東京たま未来メッセ |
| 第58回日本脊髄障害医学会 | 2023年11月16日(木)、17日(金) | ソニックシティ |

② 出展等

肢体不自由者等への啓発活動を以下の通り実施した。

| 名称 | 日程 | 開催地等情報 |
|-------------------------|----------------------|-----------------------------|
| バリアフリー2023 | 2023年4月19日(水)～21日(金) | ブース出展(インテックス大阪) |
| ウェルフェア2023 | 2023年5月25日(木)～27日(土) | 出展なし |
| ヨコハマヒューマン テクノランド2023 | 2023年10月8日(日) | 出展なし※福祉車両・介護ロボット に特化して開催 |
| 国際福祉機器展2023 | 2023年9月27日(水)～29日(金) | ほじょ犬コーナー出展 (東京ビッグサイト) |

(5) 大学・専門学校における講義

以下の大学および専門学校において介助犬等についての講義を行った

<大学>

愛知医科大学、愛知保健看護大学校、愛知淑徳大学、中部大学、朝日大学、
藤田医科大学、日本福祉大学、大阪保健医療大学、帝京科学大学、東洋大学、
神奈川県立保健福祉大学、横浜市立大学、ヤマザキ動物看護大学、
名古屋外国語大学、ハワイ大学

<専門学校>

中央動物総合専門学校、加茂看護専門学校、ちば愛犬動物フラワー学園専門学校、
専門学校名古屋スクールオブビジネス、カコトリミングスクール、
東京 YMCA 医療福祉専門学校、新居浜工業高等専門学校

(6) 講習会・交流会等

- ① 介助犬総合訓練センターにてボランティア交流会を6月24日(土)に開催した。
- ② キャリアチェンジ犬ファミリー交流会を11月18日(土)に愛・地球博記念公園モリコロパークにて開催した。

5. 調査研究

(1) 学会協力および参加

第15回日本身体障害者補助犬学会学術大会において、シンポジウムに役員2名、職員1名、アドバイザー1名が参加パネリストとなり、一般演題では職員3名が演題発表を行った。また、プログラム委員としても参加した。

【シンポジウム①】

- ・補助犬の訓練と犬の福祉：IGDF と ADI の共同声明について考える
コーディネーター：理事長 高柳 友子
アドバイザー：福井 良太
パネリスト：ゼネラルマネージャー 水上 言

【シンポジウム②】

- ・補助犬育成事業におけるワークライフバランスの実現
パネリスト：訓練飼育管理 G 篠崎 真理

【演題発表】

- ・東北キャラバン実施報告
総務広報 G チーフ 後藤 優花
- ・介助犬総合訓練センターにおける防災対策の現状
訓練飼育管理 G 丸岡 英未
- ・日本介助犬協会の「WithYou プロジェクト
(障がい児・者へのキャリアチェンジ犬譲渡)」について
公益 CC 犬 G チーフ 山口 歩

6. 関係団体協力

(1) 補助犬育成団体との連携

- ① 日本盲導犬協会、北海道盲導犬協会、関西盲導犬協会、東日本盲導犬協会等との繁殖協力、キャリアチェンジ犬の導入先としての団体間の関係継続に努め、東日本盲導犬協会から成犬1頭を導入した。
- ② 日本身体障害者補助犬学会へ団体会員として加盟継続した。

(2) 諸外国の補助犬団体との連携強化

諸外国の補助犬団体と、介助犬の育成や繁殖事業に関する交流を実施した。

- ① 9月にクロアチアで行われた ADI (Assistance Dogs International) カンファレンスに役員1名、職員4名が出席した。
- ② 6月5日～6月9日に英国の Canine Partners、DOGS for GOOD、Guide Dogs for the Blind Association への視察を行った。
- ③ Career Dogs Australia へ犬の導入についての相談を行った。
- ④ ADI、IBC(International Breeding Cooperative)/ IWDR(International Working Dog Registry)へ参加・加入した。
- ⑤ 国際活動連携の取組みを強化するため、アドバイザー福井氏（委託契約）より、上記取組みの協力を仰いだ。

(3) 医療・福祉・行政等との連携強化

- ① 中部国際空港株式会社 UD 懇談会において、有識者として参加した。

7. 補助・助成申請

(1) 介助犬貸与に関する補助

2023 年度認定者在住の自治体より、介助犬貸与に対して下記の通り交付決定した。

| 都道府県名 | 補助金額 |
|-------|-------------|
| 神奈川県 | 1,650,000 円 |

(2) 啓発事業に関する補助

愛知県より、介助犬啓発事業の補助として 123,000 円の交付が決定した。

(3) ふるさと応援活動支援事業としての補助

長久手市より、「人と犬を繋ぎ笑顔を増やしたい！【日本介助犬協会の活動支援】」として5,731,000円が給付決定した。

(4) 助成団体・事業

| 名称 | 金額 | 事業内容 |
|---|---|---|
| こくみん共済coop<全労済> 全国生活協同組合連合会 教職員共済生活協同組合 | (100万円) (250万円) (250万円) 計600万円 | 障がい児者や困難を抱える子どもを対象とした Dog Intervention(犬の介入)による支援活動の拡充 |
| 中部ウォーカーソン | 30万円 | 四国介助犬啓発キャラバン |

(5) 共同募金会による配分金

愛知県共同募金会より、車両整備(ハイエース)の配分金として1,700,000円の交付を受けた。

(6) その他

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン / Amazon 欲しいものリスト

8. 管理・運営

(1) 理事会・評議員会

定款に定める理事会・評議員会を以下の通り開催し、適正な運営に努めた。

*役員等体制(2024年3月31日現在)

理事・・・6名 監事・・・2名 評議員・・・10名
会長・・・1名 副会長・・・1名 顧問・・・2名

<理事会>

| 開催日 | 出席数 | 議案 | 審議結果 |
|---------------------------------------|----------------------|--|------|
| 第1回 通常理事会 2023年5月18日 オンライン開催 | 理事 5名 監事 2名 | 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算の件 第2号議案 社会福祉充実計画の策定の件 第3号議案 就業規則及び付属規程の変更の件 第4号議案 評議員選任・解任委員会運営細則変更の件 | 可決 |

| | | | |
|---|--------------------------------|--|----|
| | | <p>第5号議案 理事及び監事候補者決定の件</p> <p>第6号議案 会長・副会長及び顧問候補者決定の件</p> <p>第7号議案 第三者委員候補者決定の件</p> <p>第8号議案 佐藤管理部長退職に伴う評議員選任・ 解任委員の選任の件</p> <p>第9号議案 定時評議員会招集の件</p> | |
| <p>第2回 通常理事会 2023年6月15日 於)JA 共済ビルカンファレンスホ ール及びオンライン</p> | <p>理事 6名 監事 2名</p> | <p>第1号議案 理事長及び業務執行理事の互選の件</p> <p>第2号議案 令和5年7月～令和6年6月常勤 役員報酬等の個別額の件</p> <p>第3号議案 会長・副会長及び顧問委嘱の件</p> <p>第4号議案 第三者委員選任の件</p> <p>第5号議案 既存情報保管システムの更改の件</p> | 可決 |
| <p>理事会決議の 省略 2023年9月4日</p> | <p>理事 6名 監事 2名</p> | <p>第1号議案 理事補欠選任における候補者決定の件</p> <p>第2号議案 評議員会書面決議の件</p> | 可決 |
| <p>第3回 通常理事会 2023年11月20日 於)介助犬総合訓練センター 及びオンライン</p> | <p>理事 4名 監事 1名</p> | <p>第1号議案 役員賠償責任保険更新加入の件</p> <p>第2号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止 に関する事務処理規程作成の件</p> <p>第3号議案 個人情報保護規程ならびに個人情報保 護方針の変更の件</p> <p>第4号議案 苦情対応指針変更の件</p> | 可決 |

| | | | |
|--|----------------------------------|---|-----------|
| <p>第 4 回 通常理事会 2024 年 2 月 22 日 於)本部及びオンライン</p> | <p>理事 4 名 監事 1 名</p> | <p>第 1 号議案 令和 5 年度補正予算及び資金の積立ての件 第 2 号議案 令和 6 年度事業計画及び収支予算の件 第 3 号議案 令和 6 年度施設長等の選任の件 第 4 号議案 令和 5 年度常勤役員の賞与の件 第 5 号議案 常勤役員の報酬等の個別額の件 第 6 号議案 各規程の変更・施行の件</p> | <p>可決</p> |
| <p>理事会 決議の省略 2024 年 3 月 27 日</p> | <p>理事 6 名 監事 2 名</p> | <p>第 1 号議案 本部事務所リフォーム工事の件</p> | <p>可決</p> |

<評議員会>

| 開催日 | 出席数 | 議 案 | 審議 結果 |
|---|---------------------|--|-----------|
| <p>定時評議員会 2023 年 6 月 15 日 於)JA 共済ビルカンファレンスホール 及びオンライン</p> | <p>評議員 10 名</p> | <p>第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び決算の件 第 2 号議案 社会福祉充実計画の策定の件 第 3 号議案 定款変更の件 第 4 号議案 理事及び監事選任の件 第 5 号議案 常勤役員報酬規程変更の件 第 6 号議案 令和 5 年 7 月～令和 6 年 6 月常勤役 員報酬等の総額の件</p> | <p>可決</p> |
| <p>評議員会 決議の 省略 2023 年 9 月 21 日</p> | <p>評議員 10 名</p> | <p>第 1 号議案 理事補欠選任の件</p> | <p>可決</p> |

(2) 会員数増加施策および寄付・募金等

① 会員数増加施策

イ) 法人会員・法人支援者へのアプローチ

- ・2019年以降新型コロナウイルス感染拡大のため控えていた法人訪問を再開した。
- ・約2か月に1回のメーリングリストの定期配信を行った。

ロ) 継続支援会員の増加および賛助会員の新規入会促進施策

- ・会報105号(4月)会報へクレジットカードでの会費納入の案内を記載した。
- ・介助犬フェスタにて会員証持参の既存会員への特典を取り入れた。
- ・高額寄付者にカレンダーやお礼状送付を行った。
- ・約2か月に1回メーリングリストを定期配信した。

② 寄付・募金等

イ) 寄付・募金

- ・3年以上振込のない募金箱設置店に対し振込を依頼した。併せて継続設置の有無を確認とPay募金(QRコードによる募金)についての希望も調査した。
- ・既存サイズより小さく、また入り口も賽銭式の形に改良した新しい募金箱を作成した。
- ・キャッシュレス募金 auPAY 使用不可に伴い、代替 Pay 募金の準備を行った。
- ・古本チャリティ募金について、古銭、外国銭の受け入れも可能となっている事を会報にて案内した。
- ・未使用テレフォンカードの受付を開始し、46万8千円のご寄付があった。
- ・寄付型ラッピング自動販売機の導入促進の結果、問い合わせ数が20件あり、うち7台が設置に繋がった(寄付型自動販売機普及協会への直接問い合わせ分を含む)。また、チラシを作成し、法人会員未設置142件に配布し、2件の問い合わせがあった。

ロ) 収益事業

チャリティグッズについて、予定していた額を超えて売り上げた(143%)。社会福祉事業への収益事業からのみなし寄付額が昨年度の約2倍となった。

(3) 年間行事の実施

① 感謝の集い

5月21日(日)にオンラインによる感謝の集いを開催し、介助犬ペアの誕生、協会の活動紹介について報告をした。

② 慰霊祭

10月22日(日)に納骨式、現地とオンラインによる慰霊祭を開催した。

③ 使用者の集い

10月21日(土)に介助犬総合訓練センターにて開催し参加使用者は9名であった。

(4) 計画的な施設保守・営繕の検討・実施

- ① 年間スケジュールに沿って施設の各種保守点検を実施し修繕が必要な箇所の確認を行った。
- ② 外部講師による災害発災時の対応についてワークショップを開催した。
- ③ 保有車両について、介助犬総合訓練センターのハイエース（貨物）車両の更改を行った。
- ④ 予定していた充実計画に沿ってファイルサーバーの更新によるパソコンならびに周辺機器の入れ替えを行った。

(5) 業務効率化とコストダウン施策の検討・実施

事務作業のDX化施策として、ファイルメーカーを用いた経費システム作業の効率化を計画し、業者選定を行い実施に着手した（社会福祉充実計画）。

(6) 職場環境の整備

職員の働きやすさ実現のための施策として、就業環境の見直し整備に着手した。

- ① 本部事務所の環境測定の結果を受け、職員の健康に配慮した床材の張り替えを含めたリフォームを計画し、実施に向けて業者選定を行った。
- ② 職員満足度を高める観点から出張手当および住宅手当等の来年度以降の変更を決定した。

(7) 目標設定・人事評価システムの活用

- ① プロフェッショナルまたはマネジメントコースを有するキャリアパスの本格稼働に向けて、面談を通して各職員が自身のキャリアについて考える時間を設けた。
- ② 来年度より、目標到達度確認の評価システムを用い昇給を行うことを決定したことを受け、職位毎により課題が明確になるようなコンピテンシー項目の選定を行った。

9.人材育成・研修

(1) 訓練技術、ハンドリング技術の向上

訓練担当、飼育管理担当、パピー担当、広報担当職員がOJTにより訓練、ハンドリング技術の向上を目指した。

- ① 犬を訓練、ハンドリングする各チームの職員に対してOJTにより訓練、ハンドリング技術向上を強化した。
- ② Ultimate Dog Training Japan, Marina Rodriguez氏によるトレーニング研修を継続して行った。

(2) 研修

- ① 繁殖犬に関するセミナーを職員1名が受講した。
- ② 社会福祉法人会計実務講座（入門から上級まで3段階）を職員1名が受講し全ての階級で検定を合格した。
- ③ 3月18日～29日に英国の Guide Dogs for the Blind Association の National Center にて職員1名が研修を受けた。
- ④ 目標設定研修を引き続き実施した。

10. 研修生制度

- ① 2020年以降4年ぶりとなる研修生制度の実施に向けて、プロジェクトチームを発足、準備を行った。
- ② 2024年度4月開講の研修生の募集を行い、プロジェクトチームおよび役員による選考の結果、3名の採用内定を出した。

11. その他

- ① 兵庫県立総合リハビリテーションセンター、横浜市総合リハビリテーションセンターに認定審査委員として職員各1名を派遣した。
- ② 名古屋市動物愛護推進員として職員2名を派遣した。
- ③ 国立障害者リハビリテーションセンター学院にて開催される身体障害者補助犬訓練者等研修会へ講師として役員2名を派遣した。
- ④ 「ワーキングドッグ」（緑書房）の介助犬の章を役員1名が執筆した。